

科目 体育

5. 授業計画と評価規準

- 1 -

8	○水泳（6月4週目より） ※選択Ⅰと水泳は、男女ごと隔週で実施する	6	・水泳：背泳ぎの正しい泳法を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。	し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。 ・水泳：効率を高めて泳ぐための課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。	の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・水泳：水泳に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。
	○体育理論 「豊かなスポーツライフの設計」	3	・生涯にわたってスポーツと豊かにかかわるためのスポーツライフの設計のしかたについて理解することができる。	・自己のスポーツライフの設計のしかたについて課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。	・生涯にわたってスポーツと豊かにかかわるためのスポーツライフの設計のしかたについての学習に自主的に取り組もうとしている。

10	○選択Ⅱ 器械運動：マット運動 球技１：バスケットボール 球技２：卓球 ダンス：現代的なリズムのダンス 希望調査により、上記種目から男女共修で２種目を設定する	10	・マット運動：回転系、技巧系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと、およびそれらを構成し演技することができる。 ・球技：各技術の名称や行い方を理解し、練習やゲームを通して身につけることができる。 ・ダンス：リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ることができる。	・マット運動：自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。 ・球技：状況に応じたボール操作や連携した動きによってゲームを展開することができる。チームや自己の課題を発見し、取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。 ・ダンス：自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。	・マット運動：マット運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・球技：球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・ダンス：ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。
	○選択Ⅲ 器械運動：マット運動 球技１：バレーボール 球技２：バドミントン ダンス：現代的なリズムのダンス 希望調査により、上記種目から男女共修で２種目を設定する	9	・マット運動：回転系、技巧系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと、およびそれらを構成し演技することができる。 ・球技：各技術の名称や行い方を理解し、練習やゲームを通して身につけることができる。 ・ダンス：リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ることができる。	・マット運動：自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。 ・球技：状況に応じたボール（羽）操作や連携した動きによってゲームを展開することができる。チームや自己の課題を発見し、取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。 ・ダンス：自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを表現することができる。	・マット運動：マット運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・球技：球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとしている ・ダンス：ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。
12					
1					
		46			